

Florence Series



人・街・夢ある暮らしに華を咲かせます。
生活者の声から生まれたフローレンスシリーズ。

フローレンスマンションシリーズ総合サイト



取締役会長 田中 常雄 [昭和57年卒業]

代表取締役専務 田中 章博 [平成21年卒業]

ライフステージ・デベロッパー



章栄不動産

〒730-0037広島県広島市中区中町2番16号
TEL:082-545-8888(代)

分譲マンション事業 | 賃貸マンション事業 | 宅地開発・街づくり事業 |
不動産売買 | 不動産仲介 | 住宅及び店舗のリフォーム |



崇徳興仁

中 高
SOTOKU

No.36

同窓会だより



2024年(令和6年) 8月吉日 崇徳学園同窓会本部発行 崇徳学園同窓会事務局/〒733-8511 広島市西区楠木町4丁目15番13号 TEL(082)237-9331 FAX(082)230-2897

崇徳女子 生徒会で活躍

2023年度生徒会長 前田 汐音さん

2024年度新生徒会長 児玉 優雅さん

男女共学と挑戦 崇徳初の女子生徒会長 昨年度を振り返る

わが母校崇徳学園は、1875(明治8)年に創立され、県内でも有数の歴史と伝統を誇る学園です。2020(令和2)年4月に男女共学となり、2023(令和5)年に崇徳初の女子生徒会長が誕生し、生徒会を盛り上げました。

これからも親鸞聖人のみ教えに基づく「崇徳興仁 務修礼讓」の教育理念を守りながら、世界で活躍する同窓生たちを輩出してくれることを念願しております。

CONTENTS

表紙 — 崇徳女子 生徒会で活躍
P2.P3 — 崇徳前生徒会長 インタビュー
P4.P5 — 同窓会だより 活動支援金 支援者一覧
P6 — 同窓会会長あいさつ・正副役員紹介
P7 — 活動報告・活動計画
P8.P9 — 理事長あいさつ・校長あいさつ・
関東支部長あいさつ・関西支部長あいさつ
P10 — OBクローズアップ
P11 — あの先生は、今
P12 — 令和5年度 大学・短大・専修学校合格実績
P13 — 崇徳高等学校 大会成績
P14~P17 崇徳高校新聞部
P18~P36 ご協賛広告
P37 — 校歌・編集後記
P38 — 崇徳学園150周年・同窓会懇親会のご案内
同窓会ホームページ・事務局あいさつ
P39 — 学校グループ龍谷総合学園紹介
裏表紙 — ご協賛広告

生徒会での経験が自信となり、 将来の夢へと繋がった

2023(令和5)年7月～2024(令和6)年6月に、崇徳学園では初の女性生徒会長として生徒会を引っ張ってきた前田 汐音さん。コロナ禍で活動が制限されてきた中、4年ぶりに一般公開を行った崇徳祭(文化祭)をはじめ、生徒会での活動について、在任中の思い出などを語っていただきました。

前生徒会長に
インタビュー
前田 汐音さん
(3年生)



▶ 生徒会として1年を振り返って、最も印象に残っている出来事はなんですか？

やっぱり一番は崇徳祭(文化祭)です。コロナ禍で活動が制限されてきた中、昨年度は4年ぶりに一般公開を行い飲食店も解禁し、おかげさまで大盛況のうちに終わりました。高校3学年が21クラスもあり、機材の確保や場所の振り分けなどをすることが一番大変でした。人数も他学年の2倍もいたことから全体を把握することや、伝達漏れを防ぐことにとても苦労しました。

11月の崇徳祭に向けて、実は4月から動き始めるため長期的な活動が必要になります。パンフレットを作成したり印刷・配布を行ったり、昨年度はクラス旗の作成も各クラスに行ってもらいました。

▶ そういった中で、どんな工夫や機転で成功を収めることができましたか？

一番は副会長や会計をはじめとする生徒会のメンバーたちのおかげです。今の生徒会は人数も



オープンハイスクールで説明を行う生徒会のメンバー
(左から2人目が前田さん)

増え、格段にマンパワーが上がりました。自主的に動いてくれる人たちも多く、生徒会の先生のご協力のもと進められたことが成功の

鍵だったと思います。

以前は、いろんな伝達に足を使っていました。特に私が在籍するクラスは本館の6階にあり、先生方がおられる1、2階までの物理的な距離と階段には苦しみました。休みの時間の10分間でよく往復をしていたのですが、情報分野に強い後輩が生徒会に入ってくれ、googleドライブで情報共有ができるようになると、格段に伝達漏れも少なくなりました。そのメンバーには感謝しかありません。

▶ 生徒会の活動を通じて成長した面を教えてください。

全体として自信がついたことですね…最初は副会長の口癖が「すみません」だったのもいい思い出です(笑)。

今は笑顔が増えて、コミュニケーションがとれるようになり、1年間だけですがやり遂げたことが自信につながったと思います。

▶ 生徒会としてのやりがいは何でしょうか？

行事を無事にやり遂げ、みんながその行事を楽しんでくれている様子を間近で見られることです。今は先生方に多くの助力をいただいておりますが、どんどん自分たちだけで企画運営ができたらいいなと思っています。要項の一つ作るにしても、誰が見てもわかる・どんな場合が考えられ



るかなど顧問の先生からご指摘をいただきながら作成しています。

▶ 昨年度の生徒会として成し遂げられたことを教えてください。

一番は崇徳祭ですが、その次としては部活動の応援ですね。個人的な活動に留まってしまいましたが、「もっと頑張っている生徒の応援がしたい」という想いを強く持ち、参加できる大会には会場まで足を運び応援を行いました。

また、年始にあった能登半島地震の援助物資ボランティアでも積極的に活動することができました。校内で募った援助物資を分別し、物資運搬を総括して下さっている別院まで届けました。

私たちが集めた物資は、被災された方々のもとへ届けられたと聞いています。



能登半島地震で被災した方々に支援物資を届けました。

▶ 次年度の生徒会へ期待すること、ぜひ引き継いでほしいことがありましたら教えてください。

前会長が立ち上げたルールメイキング委員会の継続ですね。今、崇徳では携帯を持ってくる

いいことになっていますが、以前は持ってくることでさえできませんでした。代々の会長方が学校側と交渉を続けた結果だと思います。

また、iPadを全校生徒が持つようになり、スムーズにアンケートの実施や行事予定を配信することができるようになりましたが、その利用についてはまだ制限が多いように思えます。リスニングの勉強などでイヤホンを使用するためには大講義室かラーニングコモンズ(図書館)に行かなくてはなりませんし、勉強面で使用するのも自分がルール違反を犯していないかビクビクしながら使用している友達もいます。

今後も学校との交渉窓口として頑張っていきたいと思っています。時代に沿った校則を、後輩たちと模索していきたいです。

▶ 最後にご自身の将来の夢などを教えてください。

人のためになれる仕事に就きたいと思っています。現在、円安などの影響でインバウンドにより地方へ多くの海外からの観光客が来ています。しかし、その結果としてオーバーツーリズムという問題が観光地を中心に起きています。

今後も日本という独特な文化を持つ国には多くの観光客がくると予想できるので、そのような地域で起きる問題に対して対処できるようなスキルを身に付けたいと考えています。

生徒会での経験を糧に人に寄り添った仕事で活躍したいです。

S36卒 佐々木 直大

S38卒 山本 正克

S43卒 木本 極

S47卒 山県 英夫

S46卒 櫻井 和仁

S49卒 小谷 巖

S56卒 国重 昌克

S45卒 小松 辰雄

S57卒 田中 常雄

S43卒 國田 繁
S48卒 梶山 悦生
H10卒 島川 貢一
S20卒 田中 照男
S20卒 真末 稔
S22卒 河野 恭治
S24卒 佐上 隆彦
S24卒 宗近 義堯
S26卒 萩原 幸利
S27卒 新保 幸利
S27卒 細川 宏見
S28卒 沖本 幸二
S28卒 金子 泰之
S28卒 高井 錦祐
S28卒 並川 節夫
S30卒 梅田 久男
S30卒 中村 信義
S31卒 藤田 峰茂
S31卒 松尾 龍一
S31卒 佐伯 昌蔵
S31卒 島田 景莊
S31卒 竹内 晃
S31卒 中村 晃
S31卒 秦 孝太郎
S32卒 長谷川 善樹
S32卒 木野 琢司
S32卒 久保田 菊男
S33卒 高橋 是之
S33卒 古畑 嘉明
S33卒 川田 俊雄
S33卒 東窪 文夫
S33卒 広沢 健爾
S34卒 宍戸 大靛
S34卒 成光 義隆
S34卒 可愛川 孝雄
S34卒 山本 繁樹
S35卒 米沢 謙治
S35卒 輪田 康雄

S36卒 森本 昌憲
S36卒 榎葉 憲治
S36卒 竹内 繁樹
S36卒 西原 英昭
S37卒 大藤 良昭
S37卒 藤田 武
S37卒 村島 勝一
S37卒 山本 希生
S37卒 吉野 一登
S37卒 岡本 康司
S37卒 高崎 博至
S37卒 道土井 純也
S37卒 藤浦 一晴
S38卒 岩崎 治正
S38卒 川本 敏正
S38卒 竹永 靖正
S38卒 山手 浩
S38卒 波多野 正博
S39卒 随塚 紘一
S39卒 小嶋 嘉徳
S39卒 坂下 憲宏
S39卒 杉本 重喜
S39卒 吉見 伊織
S40卒 川本 幸隆
S40卒 小泉 隆晃
S40卒 河野 義郎
S40卒 幸本 憲昭
S40卒 下見 四郎
S40卒 竹本 誠一
S40卒 辻 和民
S40卒 前田 英治
S40卒 三宅 英文
S41卒 香川 仁
S41卒 木谷 憲昭
S41卒 坂戸 正孝
S41卒 佐藤 克彦

S41卒 澤井 一治
S41卒 高東 信男
S41卒 田中 邦彦
S41卒 前 唯信
S41卒 三浦 照輝
S41卒 村田 光良
S41卒 若宮 久和
S42卒 尾寺 英明
S42卒 加藤 敏明
S42卒 佐々木 慶太
S42卒 鈴木 孝昭
S42卒 竹下 明
S42卒 橋本 俊行
S42卒 毛利 宣義
S42卒 吉井 正樹
S42卒 木原 博明
S42卒 平岡 良治
S43卒 木本 極
S43卒 施向 憲治
S43卒 青島 栄
S43卒 浜岡 秀昭
S43卒 浜中 武
S43卒 山本 数博
S43卒 岩村 和明
S44卒 今村 卓
S44卒 尾本 清志
S44卒 川口 考夫
S44卒 倉岡 義治
S44卒 河内 哲治
S44卒 重頭 直文
S44卒 田坂 潤
S44卒 深坂 幸夫
S44卒 松坂 十千男
S44卒 山本 幸次郎
S44卒 二井 敏行
S44卒 会田 顕
S45卒 伊藤 公彦
S45卒 大井 伸洋

S45卒 中野 真穂
S46卒 浅野 康雄
S46卒 井筒 雅登
S46卒 岩崎 博英
S46卒 益 良一
S46卒 小山 章雄
S46卒 鍵山 哲典
S46卒 影久 大治
S46卒 小西 啓司
S46卒 島本 孝之
S46卒 谷川 和夫
S46卒 中村 誠
S46卒 藤田 清貴
S46卒 松苗 正美
S46卒 吉川 渉
S46卒 河田 達雄
S46卒 中村 辰雄
S46卒 久枝 康男
S46卒 盛川 五郎
S47卒 青井 清隆
S47卒 青木 秀明
S47卒 新井 穂彦
S47卒 今津 博宣
S47卒 松月 章
S47卒 大津 直樹
S47卒 岡本 明男
S47卒 沖本 総一
S47卒 小野 元則
S47卒 笠井 康夫
S47卒 角正 幸治
S47卒 吉川 幸治
S47卒 嶋川 壽嗣
S47卒 伊達 勝則
S47卒 土井 宗道
S47卒 長岡 泰三
S47卒 橋本 誠
S47卒 原田 和則

S54卒 京極 義徳
S56卒 三木 知行
H元年 山崎 保彦
H06年 久保 成史

S34卒 山 博
S40卒 多 雄
S48卒 柴 幹
S33卒 西 寿
S61卒 松 宜
S35卒 田 耕
S40卒 奥 哲
S42卒 向 啓
S48卒 木 啓
S45卒 泉 哲
S39卒 永 裕
S56卒 小 周
H04卒 中 川 志

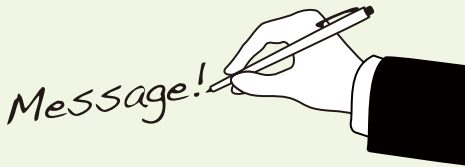
S51卒 打谷 博
S51卒 長上 弘雅
S51卒 川崎 元明
S51卒 高橋 貴
S51卒 竹島 定嗣
S51卒 浜村 光
S51卒 日浦 守
S51卒 松井 秀明
S52卒 遠藤 雅二
S52卒 住田 雅直
S52卒 坪本 敏
S52卒 福田 裕志
S52卒 前嶋 健次
S52卒 山岡 博史
S52卒 光年 利男
S53卒 西垣 勝彦
S53卒 竹原 達文
S53卒 数根 善生
S53卒 沖 義昭
S54卒 岩澤 剛
S54卒 上平 義治
S54卒 梶山 邦昭
S54卒 村上 弘高
S54卒 横田 茂樹
S54卒 大政 正登
S55卒 佐伯 誠彦
S55卒 廣原 誠
S56卒 小田 信明
S56卒 澤田 秀樹
S56卒 島原 充司
S56卒 高木 哲典
S56卒 高橋 男三
S56卒 多門 哲雄
S56卒 友池 幸夫
S56卒 西本 光一郎
S56卒 林 和則
S56卒 平野 哲郎
S56卒 松島 正欣
S57卒 清原 亮介
S57卒 登田 惠吾
S57卒 中前 彰夫
S57卒 原田 剛
S57卒 水根 優
S58卒 清水 秀一
S58卒 谷口 伸次
S58卒 原田 亮二
S58卒 藤田 和義
S58卒 矢野 孝文
S59卒 坂本 光広
S60卒 植木 義則
S60卒 沖田 康成
S60卒 金満 和幸
S60卒 田中 昌敏
S60卒 津田 泰成
S60卒 内木 寛
S60卒 中村 暢孝
S61卒 三宅 宏幸
S61卒 森藤 宏太郎
S62卒 下野 征弥
S62卒 田久 丞
S63卒 歌野 智仁
S63卒 胡浜 繁幸

S63卒 加美 富章
S63卒 河野 敬一郎
S63卒 谷口 貞弘
H元年 中林 幸祐
H元年 渡辺 正祐
H02卒 小内 俊彦
H02卒 境田 建作
H02卒 広戸 哲夫
H02卒 松本 憲明
H02卒 丸亀 朋桐
H03卒 成光 義秀
H03卒 畑中 直人
H03卒 石橋 幸男
H04卒 伊藤 知志
H04卒 梅田 貴志
H04卒 金子 弘志
H04卒 霊岳 公治
H04卒 迎見 勝洋
H05卒 沖田 俊介
H05卒 清原 将之
H06卒 山岡 正侍
H06卒 山本 良平
H07卒 岡下 勝巳
H07卒 川村 邦弘
H08卒 菅瀬 芳生
H08卒 竹中 徹
H08卒 井上 和哉
H09卒 奥本 孝之
H09卒 尾演 仁哉
H09卒 河村 祐昭
H10卒 岩瀬 大輔
H10卒 浦山 慎介
H10卒 岡野 里志
H10卒 賀屋 貴史
H10卒 岸保 洋平
H10卒 戸高 幹夫
H10卒 中村 隆教
H11卒 林 宏次郎
H11卒 三澤 正明
H11卒 三島 浩樹
H11卒 宮原 和樹
H12卒 稲垣 良佑
H12卒 前 尚佳
H12卒 真鍋 順壮
H13卒 栗栖 猛
H13卒 小西 誠
H13卒 薬師寺 浩雄
H13卒 山野 秀典
H13卒 渡邊 憲成
H14卒 齋藤 靖弘
H15卒 東 慎太郎
H15卒 柏迫 一正
H15卒 澤村 隼人
H15卒 正木 耕平
H15卒 三宅 浩之
H16卒 太刀 真一
H17卒 萩原 公太
H17卒 小畠 誠史
H17卒 酒井 一博
H17卒 袖下 智行
H17卒 横本 誠
H17卒 松村 通顕

H18卒 立木 仁
H18卒 萩原 啓太
H18卒 松本 留偉
H19卒 塚本 淳二
H19卒 花尾 光弘
H20卒 中西 弘議
H21卒 小父 寛記
H22卒 柳迫 一道
H23卒 安部 航
H24卒 小林 正憲
H25卒 坂岡 史也
H25卒 前岡 駿児
H25卒 三宅 速介
H26卒 梶間 季
H26卒 松井 悠詞
H26卒 虫明 拓郎
H26卒 森山 峻太
H26卒 山中 大輝
H27卒 川口 貴輝
H27卒 永井 大樹
H28卒 久間 成就
H28卒 高野 峻大
H30卒 秋月 宏介
H30卒 沖中 春郎
H30卒 梶間 俊孝
H30卒 野村 尚生
H31卒 石崎 健一郎
H31卒 境田 志郎
H31卒 福田 昂生
R02卒 江口 浩太
R02卒 福本 佑樹
R02卒 松苗 集
R03卒 有場 瑛司
R03卒 釘屋 玄
R03卒 高岡 由宇
R03卒 武村 正人
R03卒 戸田 康太
R03卒 福井 陽雅
R04卒 上田 響己
R04卒 河原 一朗
R04卒 境田 虎次郎
R04卒 田代 羽海
R04卒 中島 慧哉
R04卒 森山 裕太
R04卒 山本 康平
R04卒 石谷 悠希
R05卒 石橋 連
R05卒 出羽 康祐
R05卒 伊庭 大地
R05卒 岩崎 人絆
R05卒 大森 愛莉
R05卒 柿木 英佑
R05卒 金子 怜未
R05卒 木村 胡太郎
R05卒 黒瀬 拳太
R05卒 小林 璃士
R05卒 品川 津哉
R05卒 高木 哲慧
R05卒 高田 衛吾
R05卒 時永 亘
R05卒 濱田 悠
R05卒 松村 宜親
R05卒 三名 康佑

R05卒 三原 弘太郎
H24卒 長尾 崇史
S44卒 青木 孝夫
S48卒 森久 昭博
S49卒 上森 昭志
S51卒 隅田 伸之
S40卒 吉川 和章
S53卒 田中 司
S49卒 杉田 達彦
S55卒 花房 忠彦
S46卒 瀬尾 敬敏
S37卒 久保田 昇
S36卒 一場 寛昭
S43卒 野坂 寛洋
S51卒 中島 好章
S47卒 二神 輝義
S44卒 岡田 俊三
S44卒 幸田 桑原
S51卒 栗田 賢
S43卒 山本 省悟
S54卒 渡邊 信樹
S44卒 坂田 信幸
S63卒 渡邊 幸司
H27卒 井尻 開士
S47卒 中野 純夫
S38卒 土石 澄
S55卒 吉川 淳
S37卒 恵南 安司
S46卒 新庄 敬敏
S43卒 中本 孝夫
H12卒 麻生 亮樹
S43卒 麻生 法樹
S37卒 多嶋 義孝
S31卒 田村 昭平
H26卒 高畑 清
H28卒 北川 結也
H25卒 北川 滉人
S41卒 河野 哲了
H26卒 長谷 紫海
H46卒 北村 芳幸
S30卒 門田 昭司
S42卒 吉田 俊幸
S30卒 百本 公司
H17卒 能勢 弘茂
S33卒 黒川 弘茂
S46卒 田中 秀明
S55卒 中江 正彦
H02卒 吉本 祐司
S41卒 戸田 忠男
H13卒 栗栖 誠司
H03卒 中田 徹明
S62卒 倉本 明二
S55卒 衣笠 圭
S31卒 満田 尊磨
S45卒 福島 蓮
S43卒 倉田 俊治
S31卒 松島 博
S20卒 馬場 宗
S44卒 田室 孝春
S35卒 久留米 一味
S34卒 吉田 祥三
S44卒 川崎 康司
S21卒 登世 岡治
S53卒 護山 智孝
S21卒 護山 純孝
H07卒 黒田 順真

H10卒 植野 由久
R02卒 松本 卓也
H09卒 三好 幸平
S43卒 内藤 伸行
S56卒 川本 康雄
S49卒 原田 耕治
S46卒 宮本 敦
S40卒 田辺 新一
S47卒 松井 芳之
H14卒 岡崎 伸彦
S32卒 磯崎 明
H28卒 大成 龍一
H02卒 大成 康生
S29卒 河野 義明
S53卒 小出 順治
S36卒 伊藤 敏夫
S44卒 桑原 純隆
S31卒 中川 勝則
H25卒 相龍 之介
S34卒 木田 繁穂
S36卒 川本 紘美
S51卒 戸田 篤美
S50卒 和田 光生
S51卒 岡本 光生
H03卒 岩崎 英一
S31卒 薄田 英夫
S38卒 能美 正行
S50卒 山中 英嗣
S52卒 三ヶ本 義幸
S18卒 三ヶ本 克己
S40卒 松島 久弥
S29卒 江郷 岩男
S50卒 流 善之
H07卒 小川 克仁
R04卒 三浦 益男
S32卒 新見 之助
H21卒 田代 靖弘
S50卒 佐竹 勝彦
S40卒 吉川 翔平
H21卒 下和田 一乗
S43卒 中野 吉丸
S41卒 渡 博見
S40卒 岡 敬
S30卒 荒川 弘基
H17卒 圓光寺 真一
H02卒 川原 義光
S42卒 中本 義徳
H09卒 河野 幸男
S42卒 梶川 賢大
H21卒 吉川 敏彦
S31卒 住田 和弘
S45卒 平町 和亮
H15卒 藤瀬 健児
S31卒 永浦 一彦
S35卒 丸林 正典
S30卒 山田 正和
S34卒 河野 民主
S40卒 小早川 重夫
S44卒 植木 悦生
S55卒 山添 雅典
S44卒 川崎 弘三
S32卒 入江 宏紀
S57卒 三上 順不同



同窓会会長あいさつ

会員の皆様、はじめまして、崇徳学園同窓会会長を仰せつかっております、昭和61年度卒の松田宜久と申します。どうかよろしく願い致します。

「同窓会だより」は毎年発行し、今年度でNO.36となり、大学合格状況・クラブ紹介・同窓会のこの1年・崇徳生の活動報告・関東支部と関西支部の支部だより・同窓生紹介等、高校の内部や活動の様子を掲載した卒業生に向けた情報発信の媒体です。

あともうひとつ媒体の一つとしてホームページもございます、こちらの方も是非ご覧になって下さい。

崇徳学園同窓会 で 検索

母校崇徳学園は、2020年度からは女子生徒を迎え男女共学となり、2023年3月初めての女子卒業生を送り出し、同時に、同窓会の会員として迎え入れることになりました。
(今年度は卒業生689名)

同窓会活動の目的として、「母校の支援」「会員相互の親睦への寄与」があります。それぞれの目的を遂行するために、同窓会では継続的に事業を企画し推進していくこととなります。

教育振興基金を活用して頑張る後輩達へ奨学金を給付するとともに、全国大会出場を果たした各クラブへの応援、また関東支部や関西支部など全国にまたがる同窓会のネットワークへの支援など活発な活動を行っています。こうした活動ができますのも、50,000名になろうかという同窓の皆様方からのご支援とご協力の賜と、改めて深く感謝申しあげます。

私たちの同窓会は、お互いの経験や知識を共有

崇徳学園同窓会会長 松田 宜久(昭和61年卒)

し、助け合うことで、よりよい未来を築くためのプラットフォームとなります。

私たちの同窓会は単なる名前や組織ではありません。それは多くの思い出、経験、そして未来への希望を共有する場所です。私たちは皆、異なる道を歩んでいますが、共通の出発点を持っています。それは私たちが一度ともに学び成長した場所です。

来年2025年には創立150周年を迎えることとなります。

是非、思い出に浸りながら現在の学生諸君の生活や、最近の高校の施設を見学に来ていただけたら幸いです。

お知らせです、2024年度の総会・懇親会は9月28日に開催を予定しております。

本学園同窓会は「徳を尊び、思いやりの心を起こす」という「崇徳興仁」の精神で、歴代の会長、役員の方々が築いてこられた「顔の見える同窓会」として、学園主要行事への参加や毎年恒例となった崇徳祭の出店に加え、PTA役員との懇親会を開催しながら今後の後輩達の活躍を支援していきたいと存じます。

私自身、社会に出て様々な場面で「崇徳出身なのか」から始まり崇徳を縁とする結びつきの出会いをいただき、同窓であればこそその喜びを多く実感させていただきました。

崇徳学園出身同士、クラブ・職域・学年・商売等で関係を親密にし、同窓生同士の交誼を厚くして絆をもっともっと深めていただくよう願っています。

同窓の皆様のご今後のご多幸を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

崇徳同窓会役員



一段目：益田・流田
二段目：鵜飼・清水・松田・齊藤・山崎

会 長
昭和61年卒 松田 宜久
副会長
昭和44年卒 齊藤 康範
昭和46年卒 大田 善穂
昭和55年卒 河野 敏
昭和55年卒 増田 耕士
平成 元 年卒 山崎 保彦
平成 3年卒 鵜飼 誠晃

副会長
平成 5年卒 龍永 和成
平成 9年卒 木村 吏
平成13年卒 流田 甲子郎
平成16年卒 益田 和幸
監 査
昭和46年卒 清水 紀彦
昭和54年卒 中川 隆

2023年度 活動報告

2023年
4月 7日 第76回崇徳高等学校入学式(崇徳学園体育館)
第77回崇徳中学校入学式(崇徳学園講堂)
4月11日 第1回正副会長幹事会(和牛処 森)
◇同窓会だよりー活動支援金・広告協賛・誌面について
◇総会・懇親会ーチケットについて
◇同窓会年間のスケジュールについて
ー含・PTA・クラブ顧問との交流について
◇その他
4月18日 第2回正副会長会議(崇徳学園応接室)
◇活動協力金(会費)に関して
◇同窓会年間のスケジュールについて
◇同窓会だより スケジュールなど
◇その他
4月25日 2022年度同窓会会計監査(崇徳学園同窓会室)
4月 崇徳学園歓送迎会(広島ガーデンパレス)→中止
5月 9日 第3回正副会長・第2回幹事会(崇徳学園応接室・会議室)
◇2022年度活動報告について
◇2023年度活動計画について
◇同窓会だより誌面について
◇年間広告協賛について
◇同窓会キャラクターについて
◇その他
5月13日 宗祖降誕会・開校記念式(崇徳学園)
(松田会長・森正副会長・齊藤副会長・河野副会長・中川監査)
5月20日 関西支部総会(松田会長)
6月13日 第4回正副会長会議・第3回幹事会(崇徳学園応接室・会議室)
◇同窓会だより誌面について
◇広告協賛について
◇総会懇親会について
◇同窓会販売物品について
◇学園150周年について
◇クラブ顧問との懇親会について
◇その他
6月30日 クラブ顧問との懇親会(ANAクラウンホテル広島)
7月 7日 第5回正副会長会議・第4回幹事会(崇徳学園応接室・会議室)
◇同窓会だより誌面について
◇総会懇親会について
◇同窓会販売物品について
◇学園150周年について
◇その他
7月 8日 関東支部総会(松田会長)(東京・ホテル機山館)
7月25日 第6回正副会長会議・第5回幹事会(崇徳学園応接室・会議室)
◇決算・予算について
◇総会懇親会について
◇同窓会販売物品について
◇学園150周年について
◇その他
7月26日 PTA・同窓会合同懇親会(ホテルグランヴィア広島)
8月 6日 原爆忌
(松田会長・森正副会長・齊藤副会長・河野副会長・中川監査)

8月17日 第7回正副会長会議・第6回幹事会(崇徳学園応接室・会議室)
◇決算・予算について
◇総会懇親会進捗について
◇同窓会販売物品について
◇学園150周年について
◇その他
9月01日 第8回正副会長会議・第7回幹事会(崇徳学園応接室・会議室)
◇総会資料・役割分担について
◇懇親会進捗について
◇同窓会販売物品について
◇その他
9月16日 同窓会総会・懇親会(ホテルグランヴィア広島)
9月26日 第9回正副会長会議・第8回幹事会(崇徳学園応接室・会議室)
◇総会・懇親会振り返りについて
◇崇徳祭について
◇その他
10月17日 第10回正副会長会議・第9回幹事会(崇徳学園応接室・会議室)
◇崇徳祭について
◇同窓会の今後の取り組みについて
◇その他
11月 3日 崇徳祭(崇徳学園)
11月10日 奨学生採用伝達式(崇徳学園講堂)
(松田会長・齊藤副会長・河野副会長・当番幹事)
11月24日 第11回正副会長会議(崇徳学園応接室)
◇総会・懇親会会計について
◇同窓会の今後の取り組みについて
◇その他
11月28日 報恩講(崇徳学園講堂)
(松田会長・森正副会長・齊藤副会長・鵜飼副会長・中川監査)
12月 1日 第10回幹事会(崇徳学園会議室)
◇崇徳祭について
◇同窓会の今後の取り組みについて
◇その他

2024年
1月26日 第11回幹事会(ピアローゼン流川店)
◇同窓会活性化について
◇同窓会販売物品会計報告
◇広告協賛について
◇同窓会表彰式について
◇その他
2月21日 第12回正副会長会議・幹事会議(崇徳学園応接室・会議室)
◇副会長人事について
◇同窓会活性化について(委員会報告)
◇次年度広告協賛について
◇次年度同窓会だよりについて
◇その他
2月28日 崇徳高等学校卒業生表彰式(松田会長(崇徳学園体育館)
3月 1日 崇徳高等学校卒業式(上野学園ホール)
(松田会長・河野副会長・鵜飼副会長・清水監査)
3月22日 第13回正副会長会議・幹事会議(崇徳学園応接室・会議室)
◇次年度予算に関して
◇2024年度同窓会だよりについて
◇総務財務委員会合同会議に関して
◇同窓会活性化について

2024年度 活動計画

2024年
4月 8日 第77回崇徳高等学校入学式(崇徳学園体育館)
第78回崇徳中学校入学式(崇徳学園講堂)
4月16日 崇徳学園歓送迎会(広島ガーデンパレス)→中止
4月 2024年度同窓会会計監査(崇徳学園理事長室)
5月18日 宗祖降誕会開校記念式(崇徳学園体育館)
5月25日 関西支部総会(大成閣)
6月 PTA・同窓会合同懇親会
7月 6日 関東支部総会(東京・ホテル機山館)
8月 6日 原爆忌
9月28日 同窓会総会・懇親会(ホテルグランヴィア広島)

10月 奨学生採用伝達式(崇徳学園理事長室)
11月 1日 崇徳祭(崇徳学園)
11月28日 報恩講(崇徳学園講堂)
2025年
2月28日 崇徳高等学校卒業生表彰式(崇徳学園体育館)
3月 1日 崇徳高等学校卒業式(崇徳学園体育館)

※その他必要に応じて正副会長会議・幹事会・各委員会・懇親会を開催します。



理事長あいさつ

今年も崇徳学園同窓会総会、懇親会にお招き頂き有難う御座います。また日ごろより学園の教育活動、課外活動に多大なご支援を頂き感謝申し上げます。

同窓会の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も年齢を問わず幅広い世代に感染をしておりインフルエンザの様な特効薬が無いので未だ警戒を必要としています。崇徳学園でも多数の生徒や先生達もマスクの着用をしています。

さて学園は男女共学になり2回目の卒業生を輩出する事が出来ました。2023年度の進路実績は国公立138名、関関同立は110名、有名私立大学に述べ1,417名です。学園には特進コース、進学コース(5型、3型、スポーツ)が有り3年生担当の先生達は大変熱心な指導を日常的に行い、授業外でも進路指導室の隣にある教室の2～3倍ある自習室で、土日や夏休み中にも関わらず生徒達に熱心に指導してくれました。又クラブ活動では、2023年第47回全国高等学校総合文化祭新聞部門で3年連続3回目の最優秀賞を受賞しておりまた、柔道部では平和カップ広島大会で国士館を破り6大会連続で17度目の頂点に立ちました。硬式野球部は2024年度春季広島県高校野球で、広島新庄高校野球部や広島商業高等学校野球部を破り春季中国地区大会に出場し



校長あいさつ

同窓生の皆さまにおかれましては、日ごろより本校教育活動の発展のために物心両面から温かいご支援とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。本校は、明治8(1875)年に設立され、来年創立150年を迎えます。その歴史と伝統を大切にしながら、学校運営の重責を果たしてまいります。同窓会のみなさまには、今後も母校への変わらぬお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

令和6年度におきましては、共学5年目を迎え、在籍生徒1,350名(高校1,243名・中学107名・男子833名・女子517名)でスタートしました。高等学校においては、男女比率が(男子62%・女子38%)となり、学園の雰囲気も大きく変わってきております。しかし、建学の精神「崇徳興仁 務修礼讓」の教えを守り、生徒たちが「未来に向かってチャレンジ」できるよう、明るい学園を目指していきたい所存でございます。

昨年度におきましては、令和6年度大学入試において国公立大学合格者が138名(過年度生含む)となり、過去最高の国公立合格者を輩出しました。旧帝大においても、九州大学5名合格という実績も残しています。また、私立大学合格状況におきましても、関東において、早稲田大学・慶応義塾大学や、関西において、関関同立等の難関私立大学合格者も多数出ています。

クラブ活動では、令和5年度全国高等学校総合体育大会において、陸上競技が、三段跳びで個人準優勝、女子弓道部が第7位入賞、自転車競技部がチームスプリント第7位入賞、個

学校法人 崇徳学園 理事長 奥田 耕造(昭和40年卒)

ました。学園は男女共学が5年目になりますが生徒達は学園生活、課外活動に少しずつ慣れ親しんで来た様に思われます。しかしながら、女子生徒達のクラブ活動に必要な室内競技場が不足しています。学園も出来る事から少しずつでは有りますが、優先順位を考えながら対応してまいります。話は変わりますが、先日新聞に“無財の七施(むぎいのしちせ)”の記事が有りました。意味は仏教で大切にしている“地位や財力が無くても出来る他者への七つの布施(ほどこし)”です。

1、眼施(がんせ)→いつくしみの眼で全てに接する事。2、和顔施(わがんせ)→思いやりと慈愛のこもった顔の表情で接する事。3、言辞施(ごんじせ)→優しい言葉を使う事。4、身施(しんせ)→自分の体で奉仕する事。5、心施(しんせ)→思いやりの心を持ち他人の立場に立つてみる事。6、床座施(しょうざせ)→座席や場所を譲る事。7、房舎施(ぼうじゃせ)→雨や風をしのぐ場所を提供する事。これら七つはお金や物では無い真心が伝わる布施(ほどこし)と言えるでしょう。毎日少しずつ心に余裕を持って他人の為に布施を行う。それを積み重ねる事で、自分を磨き家族や友人知人、世の中で関わるあらゆる人と幸せに暮せる様になるのではないのでしょうか。崇徳学園同窓生全員はこれらを共有したいですね。

最後になりますが、同窓会会員相互の交流や親睦活動が活発になります様に、そして会員皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

崇徳中学校・高等学校 校長 松尾 耕司(昭和58年卒)

人競技第5位・第7位入賞等の結果を残しました。また、令和5年度全国高等学校総合文化祭においては、新聞部が3年連続最優秀賞獲得の快挙を果たすなど、在校生たちは、文武両道で全国的な活躍を見せてくれています。中学生も負けてはいません。全国中学校体育大会において、柔道部が団体の部第3位、個人の部において90kgで優勝・81kg級で準優勝、剣道部が個人の部において第3位入賞を果たしています。

本校の教育目的につきましては、「Sotoku Prideをもって、未来を生き抜くことのできる生徒を育成する」を掲げています。それは、自分の考えで何事にも主体的に行動し、他者をリスペクトできるしなやかな心を持つこと。さらに、過去に学び、現在を知り、未来を考える手法を学ぶことと定義しています。目的の定義を明確化したうえで、必要な能力を教育目標に設定しております。

教育目標の『崇徳学園Graduation Policy(崇徳GP)』は、どのような生徒を育てたいかという目標の実現に必要なものとして8つの力(思考力・自己肯定力・発信力・行動力・コミュニケーション力・協働力・分析力・創造力)を掲げ、それを「崇徳GP」として謳っています。教育目標を「育成したい力」にまで読み下したことで、目標が具現性を帯び、皆が理解し、常に意識することができるのではないかと考えています。

最後になりますが、本校の建学の精神はどのように環境が変わろうとも普遍的なものであり、人生の道標になるものと信じております。この建学の精神を礎として、私立学校としての存在意識を高め、生徒、保護者や地域の方がたのご期待に沿えるよう教職員一丸となって学校教育を進めてまいります。同窓会のみ

関東支部長あいさつ

『知・徳・体』をスローガンに、文武両道の理念、よき伝統及び自主・自律の校風を継承・発展させ、生徒一人一人の持つ個性や能力の十分な伸長を図り、グローバル社会の中で21世紀を逞しく切り拓くリーダーを育てよう！

同窓会のみなさま、こんにちは。関東支部も一昨年より支部総会、懇親会を再開しております。感染症も収まりませんが、二類から五類に移行したことにより動きも緩和され、人の流れが多くなってきており、気をつけながら活動して行きましょう。

さて、関東支部会報『SOTOKU』第33号の校正も終わり、七月六日(土曜日)ホテル機山館での総会、懇親会に向け準備を進めております。ぜひ、皆さん参加ください。昨年は六名の現役大学生も参加されました。新しい名簿も出来ましたので、身近な人に声をかけながら輪を広げて行きましょう。

新しい出会いにより自分自身の中に潜んでいるまだ現していない姿を先輩との出会いで新しい自分の発見の契機となること。また多様な出会いの機会と新たな道での興味や能力、適正を発見ができることを期待します。偶然の出会いによって素敵な幸運をつかみとることをセレンディビティ(serendipity)と呼びますが、どのような出会いがセレンディビティをもたらすかは一人一人違いますが、重要なことはできるだけ多くの『出会い』を経験し知性と感性を鍛えながら、自らのセレンディビティを待望することにあります。幸運とは構えのある心にしか訪れないものと思います。

人生100年と言われる時代になりました。『温故知新』を大事にし、新しい時代に向け勉強し、頑張りましょう。

最近のロンドン・ビジネススクール経営学教授のリンダ・グラットンとアンドリュー・スコットによる“The 100-Year Life: Living and Working in an Age of Longevity”によれ

関西支部長あいさつ

マグニチュード7.6、震度7の激震。令和6年の元日早々に石川県を中心として北陸地方を襲った能登半島地震。大阪でも震度4の長周期の揺れを感じ、娯楽番組を楽しんでいたテレビは突如として建物が倒壊、大規模な火事が発生している画面に切り替わって、「瞬間」29年前の阪神・淡路大震災が脳裏をかすめました。かつて「天災は忘れた頃にやってくる」といわれましたが、今は忘れる間もなく日々世界中のどこかで人災とともに天災が生じており、地球環境の破壊がそれに繋がっているのかも…と考えてしまいます。

ところで「瞬間」という言葉について、ある小説家が通っている美容院で初めて当たった美容師との雑談の中で「ノドから手が出るほど欲しかった情報」を得られた時、「瞬間というものは、一瞬のことではなくて連続性の上にあるものなんだな」、「こんな偶然が生まれたのも、その場所がそこに集う人達の間で普段から濃(こま)やかに耕されていたからだろう」と述べられたことが、ある新聞のコラム欄に取り上げられていました。

この記事を読んだ時、今『10周年』の記念の「瞬間(とき)」を迎えた当支部の存在も同様だと気づきを与えられた気がしました。思えば、確かに当支部が今日あるのは前身の近畿崇徳会から紡いで来た流れがあるからこそだ

関東支部会長 室崎 宏治(昭和46年卒)

ば、少なくとも我が国を含む先進諸国においては、西暦2000年以降に生まれた人達の半数以上は、100歳を超えて生きることになるだろうと書かれています。国連経済社会局によれば、地球上の人口は昨年末に遂に80億人に達し、それは2080年代には約104億人のピークを迎えると推計されています。これまで私達のライフ・ステージは、大きく3つのステージ、つまり教育期(Education)、就労期(Career)、そして退職後(Retirement)に分けられてきました。しかし、人生100年となると様相はかなり変わってくることになるでしょう。先に述べた“The 100-Year Life”の中でグラットン教授とスコット教授は、21世紀を生きる若者たちの第二のステージ、つまり就労期は、単に延長されるというよりは、マルチ・ステージ化されることになるだろうと述べています。つまり、一旦就労した後でも再度一定の教育期に戻り新しい仕事に就いていくということが、次第に普通になってくるのではないかというわけです。今日私達は、予想を超えるテンポで進行する地球の気候変動と大規模な自然災害や地球環境悪化、様々な国際的対立抗争の激化や格差の拡大、さらには昨今の新型コロナウイルスに代表される感染症の拡大など、地球上の人々の生命と健康を脅かす多くの困難な課題に直面しています。今私達は、改めて本学の基本理念に深く思いを致し、これらの地球社会における多元的で困難な諸課題の解決に向けて真摯かつ果敢に挑戦し、着実にその成果を社会に発信していく必要があると思います。『崇徳プライド』を守って邁進しましょう。SOTOKU PRIDEを守って未来を生き抜こう。

関西支部会長 久保田 菊男(昭和32年卒)

ということを再認識するとともに、その道筋をつけていただいた先輩諸兄に改めて崇敬の念を強くした次第です。

今年の「総会」は5月25日、常会場としている中国料理の大成閣で『10周年記念』として開催し、会員をはじめ来賓の母校ならびに同窓会本部・関東支部、そして広島関同協関係者に加えて特別ゲストとして迎えた演歌歌手の方等合わせて21名の出席を得ました。今回、10周年記念ということで採り入れた特別企画のアトラクションで、お父様が広陵高校OB(野球部。甲子園で3本のホームランを記録)という関係から広島関同協を通じて深いご縁のつながりがある歌手・水木ケイさんに出演を仰ぎ、場を大いに盛り上げていただいて、参加者全員も和やかな雰囲気の中で非常に熱気と活気に包まれて素晴らしい会となりました。

また、役員改選期の今回は「会則の一部改正」も併せて行なって新たに会長代理・顧問の役職を設ける等の改革をするとともに、現会長・副会長等の役員の再任。そして、幹事に若い会員の方2人を選任する等して次の10年に向けた新たな船出をしました。

まだまだ組織の基盤は脆弱ですが、今後も一步一步地道な努力を重ねてまいりますので引き続き関係のみなさまの温かいご理解とお力添えをお願いいたします。

世界平和の実現を目指して

高垣 慶太さん(令和2年卒)



▶来歴を紹介してください。
広島市出身。2018年度崇徳高校に入学し2020年度卒業、早稲田大学社会科学部に入学し、現在4年生です。大学では、平和学研究のゼミに所属し、ジェンダー、国際関係論、安全保障について学んでいます。

▶高校での思い出エピソードを教えてください。

在学当時の思い出ですが、毎回登校時と下校時には、親鸞聖人の像と原爆で亡くなられた先生や先輩方の慰霊碑に小さく一礼していましたね笑。今もたまにおじやます時にはそうしています。先輩たちが原爆によって過ごすことのできなかった学校生活を送らせてもらっている、ありがたい、という意識を大切にしたいなという思いがありました。窓の外が暗くなって足元が冷える中で苦手な数学を友達に教えてもらったり、文化祭でバンド演奏したりしたことなど、思い出すたくさんあります。

▶近年の活動内容について教えてください。

◎国内外からゲストを招き、世界の核被害について 若い世代が学ぶイベントの企画・運営
◎赤十字国際委員会(ICRC)のボランティア/ユースとして核兵器廃絶に向けたイベントの実施や国際会議への出席
◎早稲田大学の福島原発事故についてのフィールドワークの企画・実施 など



平和活動の始まりについて

▶最初にこの分野に興味を持ったきっかけは何ですか？

興味を持ったのは、保育園の頃から平和教育があったことが一つのきっかけです。6歳の時に遠足で原爆資料館へ行き、展示を見てトラウマになりました。しかし、家族に被ばく者がいることもあり、そういった話を聞くうち、中学生くらいの頃から自分にできることは何かと考えるようになり、高校生の頃から平和活動に携わるようになりました。

▶高校時代の経験が現在の活動にどのように影響を与えていますか？

やはり、新聞部での活動ですね。僕自身はもともと、平和関連について取材したくて入ったわけではなく、2年生の始業式の時に前に座っていた友人が新聞部に勧誘され、「じゃあ、あなたも」という“流れ”でたまたま入る形になりました。けれども、新聞部の活動で見聞きした

出来事や人の思い、またそれをどうやって発信するかと考えた経験は、確実に今の活動の原点と言えます。

新聞部時代に身につけた相手の話を聞く姿勢やそれを文章化するスキルは、今の活動にとても活きていると思います。



▶平和活動の初期に最も影響を受けた人や出来事は何ですか？

最も影響を受けた人の一人は、新聞部の顧問で、2年生、3年生の担任でもあった花岡健吾先生です。そう言えと言われたんじゃないかと疑われるかもしれませんが、これは本当です笑。

新聞部で活動する中で、僕は平和問題担当班の班長という形で取材活動を行っていたのですが、先生とは取材した事柄を記事にする過程でたくさん議論しました。

その過程で学んだことは本当にたくさんありますが、特に今も大切にしている先生の言葉があって、それは「平和のことも当たり前を考えることの一つにする」というものです。通常は、平和や戦争について考えるとすると、何か特別な気持ちがありますよね。8月6日とか、8月15日とか、そういう特別なシーズンがあって、広島での学校では平和教育もあります。でも新聞を作る中では、「県総体でこの部が活躍した」「誰々さんが優勝した」「文化祭ではこんな催しがあった」という話題と一緒に「核兵器は廃絶できるか」みたいな話を載せるわけです。

平和とか、戦争とか、そういう話をする時には、特に同世代は身構えたり、話すことに拒否反応を示すことさえあります。でも本当はそういうものじゃない、部活動の話、文化祭の話、新しい先生が着任したというごく普通な話題と同じように、核兵器とか戦争のことを考える、そういう社会を目指したいと思うのです。なぜなら誰も、無関係ではられないからです。

▶今後のキャリアにおける目標や夢は何ですか？

大学卒業後は大学院へ進み、専門分野を究めていきたいです。そして将来は、今ユースとして活動しているICRCや国連で世界平和を実現するために努力したいと思っています。特に世界中にいる核兵器(開発や実験)の被害者の救済、また近年の安全保障におけるリスク(AIや宇宙の軍事利用など)を低減するといったことに携わりたいと考えています。

「世界平和」と聞くと夢物語に聴こえるかもしれませんが、理想に向かって実直に最善を尽くすことが、本来大惨事になっていたものを押し留めたり、防いだりすることにつながるのではないかと。理想や希望を持って歩み続けることが、時に生命や誰かの大切なものを守ることにつながる



早稲田大学の
学生紹介ページ



NHK「Dear にっぽん」
『“夢物語”と言われても
～広島・ある大学生の模索～』



YouTube
「Dear にっぽん」
ショート動画



金子 徹先生

私の教師人生を当時の校長・西田早苗先生を抜きで語ることはできない。大学を卒業しようかというとき、恩師である望月宏昭先生に「教員として就職するのなら西田校長のところに顔を出しておけ」と言われ、あいさつに伺った。ところが、西田校長からは「崇徳はかけ出しの学生は採らない。10年他で勉強してから来い」と言われた。厳しい言葉だという印象を持ちながら、私は広島県の教員採用試験を受験し、採用を受けた。

県立高校採用後2年経ち、西田校長から「約束は10年だったが、自分が60歳になる今年で退任することになった。帰ってくるのに、今ならどうにか話をつけるが、どうか」と言う旨の連絡を受けた。県教職員として収入、将来の保証等に不自由があったわけではなかったため悩んだが、一介の学生だった自分との約束を憶えていてくれたことをありがたく感じ、結局受けることにした。これが崇徳に奉職した経緯である。西田先生とのご縁がなかったならば、崇徳に奉職することはなかっただろう。

崇徳ではまず、中学校志望だったが、高等学校勤務となった。まさかこの後、40余年母校に勤めることになるとは夢にも思わなかった。最初に担任を受け持った学年から、崇徳の学生服が改定になった。校内暴力が社会問題になっている時期でもあり、私は生活指導部員として「制服の乱れは心の乱れ」と考え、制服の乱れを正すという方針で担当学年の空気を締めることを心がけた。先輩たちの制服の着こなしの状況との間に矛盾を感じただろうが、その方針を弁えて生徒はよくついて



古川 耕三先生

「あの先生は今・・・」と聞かれると。一言で言うところ「今でも学内をウロウロ」と答えると思う。

私が崇徳の教員に赴任したのは1972年で、2014年に退職するまでにこれ42年もお世話になったことになる。一つの学校にこんなに長い間いたのは私学ならではのことで、それだけ学校へも、卒業生にも愛着が深い。今でも変わりつつある学校を訪ねたり、卒業生と昔話をするのは楽しみである。思い出話は語りきれないほどあるが、その中でいくつかを紹介する。一つ目は食堂の話である。当時の食堂は今の家庭科室の上にあった。私は赴任当初に生活指導部の食堂のマナー係に配属された。なぜこんな係があったかというと、あまりにもマナーがひどかったからである。学年ごとに決められた利用時間は守られず、利用した食器も机の上に放置されていた。余談だが、メニューも少なく弁当のカツ丼が人気(?)だった。そこで私は二つの取り組みをした。机の上に放置された食器たちの様子を写真におさめて当時の『PTA便り』に載せること、そして昼食時間を学年毎に守るように入り口にたって規制することである。徐々にマナーは改善されていった。私はこのことで、入り口で食堂が頼りの下宿生といろんな会話をするようになった。私も高校3年間下宿生だったので、共通の話題があった。

二つ目は中学部に勤務していた時、文化祭でテーマを『太田川』にしたときである。これは一言で言うところ楽しかった。安佐南区の川岸で息をする虫をみんなであつてフライにして出品したり、自転車で太田川を源流まで遡ったりした。生徒たちの冒険心と達成感に輝く顔を今でも覚えている。ただ、事故がなかったことを考えて、今でも胸をなぜおろしている。以来私にとって太田川は大きなテーマとなった。退職してからは、『環太田川』という雑誌の編集に関わること

してくれたと思う。月曜日発行の週刊誌を買って学校に持ち込む生徒の対応にも苦慮した。取り締まりのさなか、コンビニエンスストアの店長に話をしにいくときに気まずい思いをすることもあったが、校内の決まりを示し理解を求めた。後に生活指導部長を務めた時代も含めると13年も生活指導部に身を置くことになった。奉職後6年目の32歳になった年に生活指導部長を受けることになったため、私は担任として3学年しか卒業させていない。これが心残りである。少し寂しいが、その当時の生徒が節目ごとに関わってくれることは誠にうれしいものである。生活指導部長としての私は、生徒たちの作りあげた「怖い先生」という虚像のなかで生きてきたように感じるが、実際の私はその虚像からはかけ離れているものと自負している。

さて近況だが、コロナ禍で世間が大騒ぎをしているなか私は3回目の脳梗塞を患い、後遺症から教壇を降りることになった。当時の事務局長の温かい言葉から、事務室預かりとなり教育相談室等で連絡役等を職務とした。3年経ち、この2024年3月をもって41年間の崇徳学園職員としての生活にピリオドを打った。実際のところ、生活の変化に困惑している。日々することもなく退屈な日々を過ごしている。テレビとベッドの間を往き来する毎日である。人はテレビ欄にここまで詳しくなれることに感動すら覚えている。

そんな私から、卒業生にメッセージを送るとすれば、グリークラブの恩師である天野守信先生のお言葉、「継続は力なり」ではないかと思う。



になった。源流地域の地質調査をしたり、道なき谷を遡ったりして雑誌に載せた。又、途中からは家庭科の教員(元々は理科の教員)になってからの色々な取り組みの内容を載せたり、2011年の東日本大震災で広島に避難してきた人たちの様子を載せたりした。沢山の大学の関係者や太田川を愛する研究者の記事を載せた雑誌は約10年を経て閉刊した。今の私の目標は、この雑誌を埋もれさせることなく、閲覧できるようにして本校をはじめ色々な図書館におくことである。本校の協力も受けることになっている。今でも学内をウロウロしているのはそのためである。

150年前、先人たちが太田川の砂をモッコでかついで川原を埋め立て、整地してから本校が作られたという。先輩の先生からは、体育の授業では太田川をプール代わりにしたとも聞いている。崇徳祭では、運動部の部員の協力を得てモッコを担いでもらって砂を運び、祭りの門柱のところに砂を入れる様子を動画にして全校生徒に見てもらった。(VTR「崇徳スピリットとは何か」に収録)

最後に、教え子に伝えたかったことというテーマだが、当時あまり意識していた訳ではないが、しいていえば、一つは「いろんな違いがあっても認め合って、共通するものをさがそう」ということであつた。このことは多分、『戦争』とか『差別』をなくすにも必要なことだと思う。二つ目は、「楽しむこと」である。色々あつたけど結構生徒と一緒に楽しんできた。だから何とか今までもこたえられたのだと思う。特に67歳から73歳まで病気・体調不良を経験してから、そのことを痛切に感じている。『日々、楽しく!』と今も思っている。



国公立大学合格者数

国立大学	現役	既卒	合計
公立大学	73	6	79
合計	132	6	138

関関同立合格者数

大学名	現役	既卒	合計
同志社	5	1	6
立命館	54	2	56
関西学院	21		21
関西大学	27		27
合計	107	3	110

〈大学別合格者数〉

国立大学

大学名	現役	既卒	合計
弘前大学	1		1
茨城大学	3		3
宇都宮大学	1		1
埼玉大学	1		1
神奈川大学	1		1
和歌山大学		1	1
鳥取大学	2		2
島根大学	2		2
岡山大学	1		1
広島大学	19	1	20
山口大学	14	4	18
徳島大学	2		2
愛媛大学	15		15
九州工業大学	5		5
九大	1		1
大阪体育大学	1		1
琉球大学	1		1
国立大学計	73	6	79

公立大学

大学名	現役	既卒	合計
名寄市立	1		1
秋田公立美術大学	1		1
高崎経済大学	1		1
前橋工科大学	1		1
東京都市大学	1		1
神奈川立保健福祉大学	1		1
横浜国立大学	2		2
都立文芸科学大学	1		1
長岡造形大学	1		1
静岡国際大学	1		1
静岡文化芸術大学	1		1
京都府立	1		1
大阪公立大学	1		1
神戸市立	1		1
兵庫県立	1		1
新見公立	1		1
県立広島	16		16
広島市立	8		8
飯沼市立	1		1
周南公立	3		3
下関市立	4		4
山口県立	1		1
高知工科大学	1		1
高知県立	1		1
北九州市立	5		5
九州歯科大学	1		1
長崎県立	1		1
公立大学計	59	0	59

私立大学

大学名	現役	既卒	合計
日本赤十字北海道	1		1
富山大学	1		1
日本赤十字秋田	1		1
文成大学	2		2
平成国際大学	1		1
千代田工業大学	2		2

私立大学

大学名	現役	既卒	合計
東洋学園大学	3		3
青山学院大学	1		1
亜細亜大学	1		1
学習院大学	1		1
北里大学	1		1
慶応義塾大学	1		1
国立音楽大学	1		1
國學院大学	1		1
産業能率大学	1		1
芝浦工業大学	2		2
順天堂大学	2		2
昭和大学	1		1
成蹊大学	2		2
専修大学	2		2
創価大学	1		1
玉川大学	1		1
多摩大学	1		1
中央大学	4		4
帝京大学	3		3
帝京平成大学	2		2
東海大学	4		4
東京女子大学	1		1
東京造形大学	1		1
東京都市大学	3		3
東京農業大学	3		3
東京理科大学	2	3	5
東洋大学	4		4
日本体育大学	6		6
日本体育大学	1		1
法政大学	2		2
武蔵野大学	2		2
武蔵野大学	1		1
明治大学	6	1	7
明治大学	1		1
立教大学	2		2
立教大学	2		2
早稲田大学	1		1
神奈川大学	1		1
京大工芸	1		1
金沢工業大学		1	1
愛知学院大学	1		1
中京大学	6		6
南山大学	1		1
名城大学	1	1	2
大谷大学	4		4
京都光華女子	1		1
京都府立	5		5
京都外国語大学	2		2
京都産業大学	20	6	26
京都薬科大学		1	1
同志社女子	7		7
同志社大学	5	1	6
立命館大学	4	2	6
立命館大学	54	2	56
龍谷大学	64		64
近畿大学	1		1
手門学院	6		6
大阪学院	5		5
大阪工業大学	8		8
大阪国際大学	1		1
大阪産業大学	7		7
大阪歯科大学	1		1
大阪産業大学	1		1

私立大学

大学名	現役	既卒	合計
大阪体育大学	2		2
関西外国語大学	21		21
関西国際大学	5		5
関西学院大学	2		2
近畿大学	69	2	71
相模大学	1		1
阪南大学	1		1
梅花女子学院	1		1
桃山学院大学	28		28
桃山学院大学	1		1
大和大学	1	1	2
芦屋大学	1		1
大手前大学	1		1
関西学院大学	27		27
神戸女子大学	4		4
甲南大学	5		5
神戸学院大学	15		15
神戸芸術工科大学	1		1
神戸薬科大学	3		3
神戸薬科大学	2		2
帝塚山大学	2		2
天理大学	1		1
岡山理科大学	7		7
川崎医科大学		1	1
川崎医科大学	2		2
瑞穂大学	3		3
吉備国際大学	1		1
近畿(東広島)	52	5	57
日本赤十字広島看護	7		7
比治山大学	17		17
広島経済大学	61		61
広島工業大学	150	1	151
広島国際大学	74	1	75
広島修道大学	361	2	363
広島女学院	6		6
広島都市学園	4		4
広島文化学園	7		7
広島文教大学	11		11
安田女子大学	97		97
瑞穂大学	7		7
梅光学院	1		1
四国大学	1		1
四国大学	1		1
九州共立	1		1
久留米大学		1	1
産業医科大学	1		1
西南女学院	1		1
西南女学院	5		5
日本赤十字九州国際	1		1
日本経済大学	1		1
福岡大学	18		18
崇城大学	3		3
立命館アジア太平洋	1		1
私立大学計	1385	32	1417

短期大学

大学名	現役	既卒	合計
関西外国語大学短期	3		3
広島文化学園短期	1		1
比治山大学短期	1		1
短期大学計	5	0	5

第77回 広島県高等学校総合体育大会

【柔道部】

- ▶団体 優勝
- ▶個人 5階級 優勝

【ラグビーフットボール部】

- ▶15人制 2位
- ▶7人制 2位

【剣道部】

- ▶団体 第3位
- ▶個人 第2位

【テニス部】

- ▶ダブルス 優勝
- ▶団体 第3位

【バレーボール部】

- ▶第2位

【硬式野球部】

- ▶令和6年度
春季広島県高校野球大会
第4位
- ▶第142回
春季中国地区高校野球大会
出場

【ボクシング部】

- 男子ボクシング部
- ▶学校対抗の部 優勝
- ▶個人 男子4階級 優勝

女子ボクシング部

- ▶個人 女子1階級 優勝

【軟式野球部】

- ▶第69回
春季広島県高校軟式野球大会
優勝
- ▶第35回
春季広島県高校軟式野球大会
優勝

【体操競技部】

- ▶団体 優勝
- ▶個人 優勝

【陸上競技部】

- ▶団体 総合3位、トラックの部6位、
フィールドの部1位
- ▶個人 3種目優勝

【女子水泳部】

- ▶個人 3種別 優勝
- ▶リレー 3種別 優勝

【弓道部】

- ▶男子団体 2位
- ▶女子団体 6位
- ▶女子個人 優勝



「現在宮島で食べられる全てのお店のもみじ饅頭（新聞部調べ）」
「1」～「16」は宮島に出店した順となっている



宮島のもみじ饅頭全部載せ



①だいこん屋 ②博多屋 ③津田清風堂 ④岩村もみじ屋 ⑤紅葉堂 ⑥吉川七浦堂 ⑦藤い屋
⑧やまだ屋 ⑨木村家本店 ⑩鳥居屋 ⑪坂本菓子舗 ⑫菓子処きむら ⑬木村屋
⑭ミヤトヨ本店 ⑮りらっくま茶房 ⑯にしき堂

宮島島内のもみじ饅頭屋 味一覧

番号	店名	価格	ライオンマーク
1	だいこん屋	120円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、チーズ、レーズン、くるみ、おぼろ
2	博多屋	120円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、チーズ、レーズン
3	津田清風堂	120円	なし、ミルクチョコ、黒ごま、ブルーベリー、ミルク
4	岩村もみじ屋	120円	なし、つぶ
5	紅葉堂	120円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、チーズ
6	吉川七浦堂	90円	なし
7	藤い屋	120円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、きくらげ、紅芋、黒ごま、おぼろ、チョコ、コーティング
8	やまだ屋	130円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、きくらげ、紅芋、黒ごま、おぼろ、チョコ、コーティング
9	木村家本店	120円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、きくらげ、紅芋、黒ごま、おぼろ、チョコ、コーティング
10	鳥居屋	120円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、きくらげ、紅芋、黒ごま、おぼろ、チョコ、コーティング
11	坂本菓子舗	120円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、きくらげ、紅芋、黒ごま、おぼろ、チョコ、コーティング
12	菓子処きむら	120円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、きくらげ、紅芋、黒ごま、おぼろ、チョコ、コーティング
13	木村屋	120円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、きくらげ、紅芋、黒ごま、おぼろ、チョコ、コーティング
14	ミヤトヨ本店	120円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、きくらげ、紅芋、黒ごま、おぼろ、チョコ、コーティング
15	りらっくま茶房	120円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、きくらげ、紅芋、黒ごま、おぼろ、チョコ、コーティング
16	にしき堂	120円	なし、つぶ、チョコ、クリーム、抹茶、きくらげ、紅芋、黒ごま、おぼろ、チョコ、コーティング

こし=こしあん、つぶ=つぶあん「価格」はこしあんバラ売り1個の価格

やまだ屋宮島本店で 手焼き体験

部員も実際に体験させてもらいました

店2階ではもみじ饅頭の焼き体験ができます。料金は一回880円で、約30分の体験となっています。体験では、こしあんやチョコの2種類の饅頭を作る事ができます。

やまだ屋宮島本店2階ではもみじ饅頭の焼き体験ができます。料金は一回880円で、約30分の体験となっています。体験では、こしあんやチョコの2種類の饅頭を作る事ができます。

体験した丸山記者は「自分でもみじ饅頭を作ったのには思い出せないくらい、全部で、分らないことがあれば、職員さんが優しく教えてくれる。団体客や修学旅行生の予約が1年先まで入っているなど大人気だ。昨年の崇徳の校外学習で、宮島に行き、実際に体験した生徒もいるかもしれない。」

上手に焼きました

みた目もいろいろ次世代「もみまん」

アイスにパイ、クロワッサン登場

リはパイ生地とマッパした「パイもみじ」ひんやりした「あいすきんど」と、ピンチをチャレンジに変えた。こだわりの饅頭の生地を真空パックにせず、しっとりとした食感に仕上げているとのこと。

もみまん

紅葉堂は平成13年から「揚げもみじ」を売っている。失敗して店に出せないもみじ饅頭を試しに揚げた。

紅葉堂 揚げもみじ (200円)

宮島のもみじ

鳥居屋は8年前から「もみじ」クロワッサンを販売している。味は、しあん、つぶあん、アップル、カスタードのほかに季節限定もある。一つ一つ手焼きのため、サクサクとした生地を楽しむことができる。

鳥居屋 もみじクロワッサン (300円)

祝 同窓会総会

崇徳歯科医会 会長 前田英治

八丁堀歯科医院

前田英治（S40年卒）
広島市中区八丁堀3-8 ハイネス白峯ビル403号
☎(082)227-3344

木本歯科医院

木本 極（S43年卒）
広島市西区草津東1-9-11
☎(082)271-3924

野坂歯科医院

野坂 寛（S43年卒）
広島市東区牛田新町1-6-36
☎(082)223-2882

こたく歯科医院

古宅康久（S45年卒）
広島市東区若草町10-11 加藤ビル1F
☎(082)262-0648

河村歯科医院

河村久輝（S45年卒）
広島市中区昭和町4-22-201
☎(082)247-6480

森田歯科医院

森田行雄（S45年卒）
広島市中区宝町2-1 フジグラン広島4F
☎(082)241-4953

末永歯科医院

末永輝義（S46年卒）
安芸郡府中町青崎中8-7
☎(082)285-8148

小早川歯科医院

小早川秀雄（S48年卒）
広島市安佐北区口田4-9-23
☎(082)845-0118

衣笠歯科医院

田尾良憲（S48年卒）
広島市安佐南区山本3-21-10
☎(082)874-8577

田中歯科医院

田中康弘（S48年卒）
広島市東区東山町2-12
☎(082)281-1074

平野歯科医院

平野隆司（S49年卒）
広島市中区光南1-9-18
☎(082)247-7354

山田歯科医院

山田庸二（S49年卒）
広島市中区国泰寺町1-3-12
☎(082)244-5955

小島歯科医院

小島 隆（S49年卒）
広島市南区西霞町7-13
☎(082)251-7018

新見歯科医院

新見通敏（S50年卒）
広島市中区堺町1-2-10
☎(082)231-1155

片山歯科医院

片山 淳（S51年卒）
広島市安佐南区上安6-26-1
☎(082)878-0118

橋本歯科

山本正純（S51年卒）
広島市中区銀山町6-23 ピュアコート橋本201
☎(082)541-7700

ひまわり歯科

岡本佳明（S60年卒）
安芸郡海田町昭和中町2-38
☎(082)820-0800

ふたばの里歯科

山崎保彦（H1年卒）
広島市東区二葉の里3-4-6
☎(082)568-6630

ゆめ歯科クリニック

尾尻秀夫（H8年卒）
広島市安佐南区伴南1-5-18-8-302
☎(082)811-8241

光ヶ丘歯科医院

横村康彦（H10年卒）
広島市東区光町2-8-19
☎(082)263-1339

西原ひだまり歯科

土岡寛和（H11年卒）
広島市安佐南区西原9-19-24
☎(082)874-4188

崇徳学園同窓会の
ますますのご発展を
念じております



創業 1923 年
おかげさまで 101 周年
株式会社大田鑄造所

設計・鑄物製作・熱処理・塗装・機械加工・板金製作・組立

鉄を溶かし、匠の技で高品質な鑄物を数多く生み出してきました。

これからも新たな創造にチャレンジし、
世界を支える企業へ、成長を続けて参ります。

代表取締役社長 大田喜穂（昭和 46 年卒）

本 社：広島市西区上天満町 3 番 23 号
TEL(082)232-8271 FAX(082)293-0070

千代田事業所：広島県山県郡北広島町舞綱 157-1
TEL(0826)72-5151 FAX(0826)72-5153

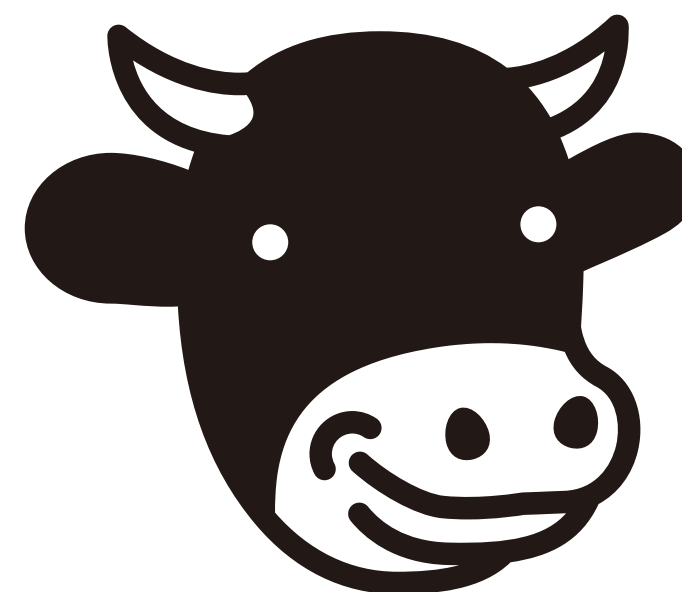
島根事業所：島根県邑智郡邑南町上亀谷 395-2
TEL/FAX(0855)83-1018

グループ会社

株式会社ジャパン・エンジニアリング・ワークス
CASTEMA HEAVY INDUSTRIES Co.,Ltd(タイ国)

O-CAST Thai Co.,Ltd(タイ国)

動く、おもてなし。



FORBLE

株式会社 フォーブル

フォーブル 検索

タクシーのご用命は

TEL.082-878-0001

鋼材の高度加工で関東へ業容拡大

形鋼・角丸パイプ・3次元レーザー加工
パイプコースター(パイプの開先加工)

緑鋼材株式会社

代表取締役 **緑 博康** (昭和50年卒)
営業部課長 **島本 洋輔** (平成15年卒)

本社: 〒733-0036 広島市西区観音新町4丁目6番17号
TEL(082)231-2194 FAX(082)231-9588
ホームページアドレス <http://www.midorikozai.co.jp>
島根事業所: 〒699-0406 松江市宍道町佐々布868番65
TEL(0852)66-7711 FAX(0852)66-7712
関東加工センター: 〒301-0852 茨城県龍ヶ崎市向陽台6-1
TEL(0297)86-6017 FAX(0297)86-6018

限りある資源と調和する

総合エンジニアリングで都市計画を創造していきます。
建設コンサルタント/上下水道調査設計

ISO9001 認証取得 ABS QS-35757

株式会社 大広エンジニアリング

代表取締役 **正木 普**

本社/広島市西区南観音7丁目13番14号

TEL (082) 291-1313 FAX (082) 231-1690

HP <http://www.daiko-eng.co.jp> E-mail: enjoy@daiko-eng.co.jp

支社/山口県周南市

営業所/呉市・江田島市・東広島市・三次市・福山市・下関市・岩国市・柳井市
島根県津和野町



共盛自動車グループ

マツダオートザム安芸府中	広島県安芸郡府中町大須3-8-48	TEL 082-284-0005
マツダオートザム東広島 ユーカーランド	東広島市西条町御園宇5200-1	TEL 082-422-6800
スズキアリーナ緑井	広島市安佐南区緑井6-7-14	TEL 082-879-0111
スズキアリーナ中山	広島市東区中山東3-1-9	TEL 082-280-1616
ダイハツ共盛 庚午店	広島市西区庚午中3-8-9	TEL 082-533-6466
カーセブン広島五日市店	広島市佐伯区利松2-4-20	TEL 082-928-6300
ニューテック共盛(飯金塗装)	広島市西区観音新町1-1-31	TEL 082-503-5110
車検の速太郎 広島吉島店	広島市中区吉島西1-23-21	TEL 082-243-4385
マリンハーバー吉浦	呉市吉浦新町1-5-1	TEL 0823-31-3060
バジェットレンタカー広島	広島市中区十日市町1-1-14	TEL 082-554-4360
保険サービスセンター	広島市西区庚午中3-8-9 2F	TEL 082-208-4761

代表取締役 **上松 史和** (平成4年 卒業生)



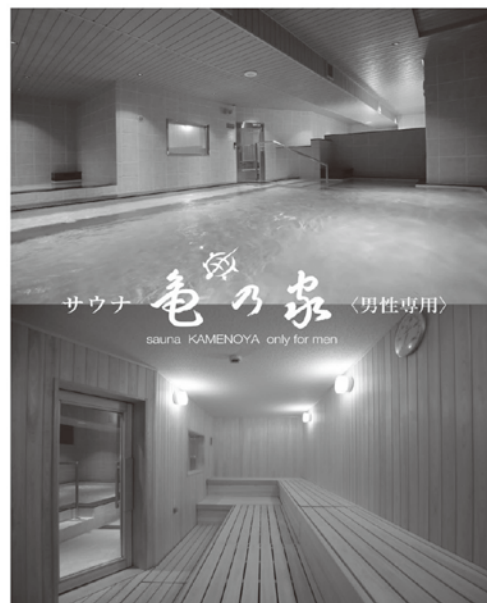
有限会社 武蔵サービス

代表取締役 **榎田丈洋** (平成8年卒)

土木建設業・建設特殊工事・水道工事
管工事・さく井戸ボーリング工事

本社 広島県東広島市黒瀬町大多田1608-3
Tel:0823-82-5147 Fax:0823-82-5147

呉支店 広島県呉市広白岳5-4-8
Tel:0823-71-3212 Fax:0823-71-3213



大型高温サウナ&水風呂完備の大浴場で極上のくつろぎを

広島パシフィックホテル
代表取締役 木村 吏

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 8-16

TEL: 082-221-1231 [http:// www.h-pacific.com](http://www.h-pacific.com)

富田屋

全酒類・食品販売
TOMINOYA

代表

富中 修

Osamu tominaka

事業内容

- 酒類・食品販売事業 ○軽貨物運送事業
- システムキッチン・バスリフォーム事業
- キッチンカー事業 ○イベント企画・運営事業
- 飲食店経営事業

〒733-0025

広島市西区小河内町1丁目10-3

TEL.082-208-3388

FAX.082-208-3389

MAIL tominoya.9-8@docomo.ne.jp

sunahara

株式会社 砂原組

代表取締役 砂原 傑

本 社 〒730-0047 広島市中区平野町1番16号

TEL (082) 243-7421 FAX (082) 243-7420

営業所 安芸高田

Anniversary 100th



公式YouTube



砂原組HP

「賃貸管理戸数」&「賃貸仲介件数」中四国No.1*



お部屋探しのベストパートナー

良和ハウス

●本社事務所 広島市西区楠木町2丁目1-1

082-509-1001



HPは
こちらから

タナカのくふりかけ^{元祖}

健康とおいしさを
追求し続けて124年

旅行の友 世界の友 世界初特許製品 巻くふりかけ



TANAKA 田中食品株式会社

故人に感謝の気持ちを表す葬儀を…
悔いのない葬儀をするよう努力しております。



創業昭和六年
株式会社

玉屋



☎ (082) 261-4949 本社／南区段原



PC650-8 2017年7月稼働開始

中村砕石株式会社

【本社】

〒731-0202 広島県広島市安佐北区大林町50番地
TEL:082-818-4355 FAX:082-818-2024

【湯来事業所】

〒738-0601 広島県広島市佐伯区湯来町和田341番地
TEL:0829-83-0515 FAX:0829-83-1107

【岩国事業所】

〒741-0073 山口県岩国市柱野五瀬野371-1
TEL:0827-46-1892 FAX:0827-46-1892



<https://www.nakamurasaiseki.com>

スポーツ用品のことならスポーツのニシヒロへ

We Support Athletes!
SPORTS NISHIHIRO

<http://www.sportsnishihiro.com/>

■ スポーツのニシヒロ外商部

〒733-0035
広島市西区南観音 8-12-20
TEL:082-296-5655 FAX:082-296-6665

■ スポーツのニシヒロ己斐店

〒733-0812
広島市西区己斐本町 1-9-20
TEL:082-271-7211 FAX:082-271-0888



有限会社 ソートク自動車 ^{本社工場}

〒733-0002 広島市西区楠木町3丁目2-8 TEL(082)237-2537(代)

マツダオートザム楠木 ^{マツダ系ディーラー}

〒733-0002 広島市西区楠木町3丁目1-35 TEL(082)237-2020

代表取締役

増田耕士 (S55年卒)

増田洋士 (S57年卒)

井上雅之 (S59年卒)

増田雄介 (H18年卒)

IK-HOME

代表取締役 五百蔵 祐輔 [平成23年卒業]

IOKURA YUSUKE

IKホーム株式会社 | 広島県知事(1)第11413号
〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-72 G.C二葉通りビル804
tel 082-569-7282 fax 082-569-7283



事業内容
不動産売買仲介事業・不動産買取事業
販売受託事業

WANICO WANICO合同会社

代表社員

益田 和幸

Kazuyuki Masuda

Mobile:090-7374-4794 E-mail:wanico.masuda@gmail.com

〒733-0844 広島市西区井口台3-33-25 ソフィアコート井口台Annex1F
TEL:082-961-6108 FAX:082-961-6681



おかげさまで、創業77年

創建工業株式会社

代表取締役社長 鶴飼誠晃 (平成3年卒)

<https://www.sokenkogyo.co>

総合建設業・TATEMONODOCK・健康介護リ

住所: 広島市中区榎町2-14 電話: 082-292-32

Real Estate
MATSUDA

有限会社 松田不動産

代表取締役 松田 宜久 (昭和61年卒)

〒730-0044 広島市中区宝町9-19 コンフォート宝町1F

TEL (082) 244-0425 FAX (082) 243-3293

URL <http://www.matsudafudousan.co.jp/> e-mail info@matsudafudousan.co.jp

学校法人

★光禅寺 ★星月学園

光禅寺認定こども園 楽々園ルンビニ幼稚園

理事長 星月 空

星月光生 (H8年卒)

星月信之 (H9年卒)

広島市佐伯区五日市2丁目1の1

西山会計事務所

税理士

西山 健三

NISHIYAMA KENSOU

〒732-0826

広島県広島市南区松川町6番27号

TEL 082-506-3970

FAX 082-506-3971

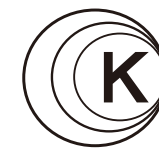
E-mail kn@n-kaikei.com

<https://www.n-kaikei.com/>

21世紀型教育の総合キッズスポーツスクール
biima Sports

無料体験スクール随時受付中

【横川校・広島中央校・広瀬北町校・五日市中央校・観音校・吉島校・西区山田校】



日光陸運株式会社

代表取締役 實光聖司 (S55年卒)

本社 〒731-0101

広島市安佐南区八木1丁目13-11

Tel.082-873-7007 Fax.082-873-3434

勝木営業所 〒731-0235

広島市安佐北区可部町大字勝木字河原迫2182番地

Tel.082-810-0007 Fax.082-810-0032

体すこやか 心ゆたか 本物の知性

学校法人 永照寺学園



永照幼稚園

〒733-0001 広島市西区大芝 2-10-13 TEL (082) 238-2201

<http://www.eisho.ed.jp>

EIFUKU
エイフク株式会社

◇溶接機材・高圧ガス

◇在宅医療サービス
(HOT・SAS・NPPVなど)

◇エレベーター内装工事

睡眠時無呼吸症候群やいびきに関するお悩みはお気軽にどうぞ!

〒730-0825 広島市中区光南4丁目2-28 TEL: 082-243-2035

<https://eifuku-o2.com> E-mail: kma@eifuku-o2.com

担当: 益田 和幸 (H16年卒)

自然にやさしい企業を目指して



中国運輸局指定民間車検場

胡子自動車工業株式会社
胡子自動車部品有限会社

広島市南区出島2丁目14-47

TEL (082) 251-0411 (代)

FAX (082) 254-6611

URL <http://www.ebisu.co.jp>

結城 範宗 (S60卒)

株式会社 エイトコーポレーション

代表取締役 八條 公貴 (H8年卒)



□ 本 社 広島県福山市曙町四丁目3番15号
TEL084-983-0880 / FAX084-982-8488
□ 広島支店 広島県広島市安佐南区安東五丁目34番12
TEL082-962-0882 / FAX082-962-0883



富久紗、風呂敷、祝儀袋

(株) 永井紙店

広島市中区本通1-15
☎ (082) 247-0125

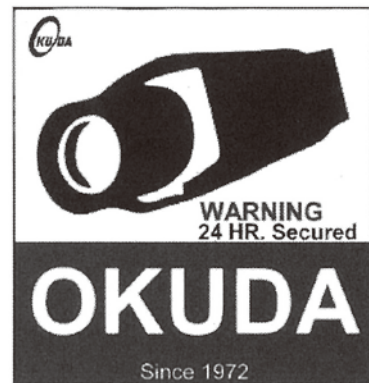
創業室町時代の和紙専門道を今春改装致します!



防犯カメラ製造販売設置保守

奥田商事株式会社

本社 〒733-0011 広島市西区横川町1-10-1
電話 082-292-2600 FAX 082-292-2944
www.okudacamera.co.jp



人と自然のHARMONY
株式会社 河崎組

<http://www.kawasaki-group.com/>

【総合建設業】

土木構造物・建築物並びにエクステリアの設計、施工

本 社 / 〒732-0068 広島市東区牛田新町2丁目4番19号
TEL (082) 228-2288 FAX (082) 223-8987

小田 修三 昭和49年卒
大久保 昭宏 平成4年卒

有限会社 野地興産

代表取締役

野地俊行

広島市中区八丁堀 13-15 4F TEL 082-222-1800/FAX 082-222-1833 MAIL toshiyuki@noji-ind.co.jp



お葬式

〒731-0136 広島市安佐南区長東西1丁目36-34
(新庄橋北詰の土手を斜めに降り→踏切を超えて直進→突き当り)

フリーダイヤル 0120-34-5940
詳しくは「ぎおんじょうびょう」で検索 <http://www.gion-j.com>

総合建設業
株式会社 ティーエス・ハマモト
代表取締役 濱本 利寿
〒731-0135 広島市安佐南区長東 4-16-2
TEL:082-238-1511 FAX:082-238-1513

佐藤 友昭 平成2年卒

ティエス・ハマモト 検索

水口組
MIZUGUCHI

人と地域に寄り添う。



おうち空間、快適提案 082-842-0025
<http://www.mizuguchi.co.jp>

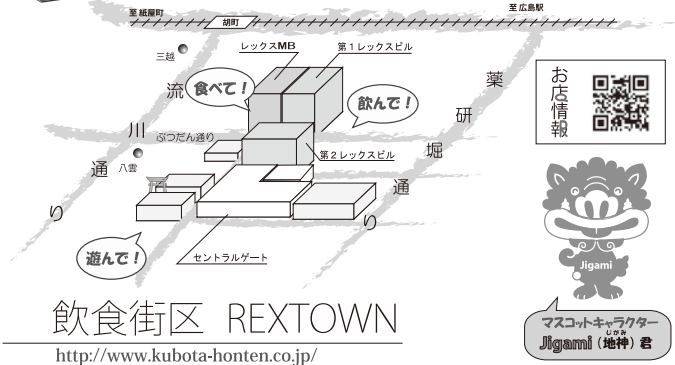


木まま住宅 設計&工房
建築・設計・宅建

株式会社 ハウジング丸二

代表取締役 齊藤 康範 (昭和44年卒)

広島市安佐南区長東5丁目17-12
TEL (082) 238-2138 FAX (082) 238-2181
丸二木材工業(株) 吉島工場



飲食街区 REXTOWN
<http://www.kubota-honten.co.jp/>

  株式会社 い と や ●本社・・・広島市中区本通2-7 TEL 248-1338 ●営業本部・・・広島市中区舟入川口町12-17 TEL 291-0030 ●本・支店・・・本通店・アクアセンター街店・舟入店・呉店・五日市駅南口店  学生服のほか企業ユニフォーム、ワーキングウェア、イベント用品等。 ISO 14001 JQA-EM2979 営業本部 ISO 14001認証取得	 代表取締役 定 井 裕 二 有限会社 キムラデンキ 〒730-0025 広島市中区東平塚町11-6 TEL 082-241-0472 FAX 082-243-8473 携帯 090-1687-4132 E-mail:kimuradenki@herb.ocn.ne.jp Panasonic パナソニックの店
 タオル・旗・のれん・幕・ハッピーゼッケン・T-シャツ等プリント カレンダー・作業服・ビニール 印入加工販売 有限会社 田中染工 〒733-0006 広島市西区三篠北町12-11 TEL (082) 237-1559 FAX(082) 237-2200 E-mail:tanaka05@ccv.ne.jp	都心に近く、騒音に遠く交通至便の所 優雅・閑静本郷随一の  代表取締役 重 本 康 成 (昭和48年卒) 株式会社 機 山 館 〒113-0033 東京都文京区本郷4-37-20 TEL (03) 3812-1211(代) FAX (03) 3816-1218 最新の設備を整えた宴会室。 大小5ヵ所の部屋(5名～150名収容)をご用意。 照明、音響など、どれをとっても重厚かつ格調ある空間づくりです。 会議室としてもご利用いただけます。 
 株式会社 インブルーム 代表取締役 佐々木 礼正 Hiromasa Sasaki	 ナカニシ・ガラス multi-crafter
大切な人を心を込めてお送りしたい・・・ ★ 広島メモリアル株式会社 ●家族葬戸坂会館：東区戸坂中町 3-14 ●直葬中山会館：東区中山 1-2-6 ☎ 0120-06-9494 年中無休 24時間受付 ホームページ：hiroshima-memorial.com/ E-mail：hiroshima.memorial@eagle.ocn.ne.jp	 天 宮 の ぼ る 〒730-0021 広島市中区胡町2-16 エイトバレー19 4F TEL:082-246-3241 携帯:090-7772-4968

〒 広島馬木郵便局

局長
升 川 康 仁
マス カワ ヤス ヒト

〒732-0031 広島市東区馬木2丁目541-5
TEL: 082-899-8766 FAX: 082-899-5642
E-MAIL: yasuhito.masukawa.cw@jp-post.jp 

 **人事労務サポートオフィス
石橋労務管理事務所**

社会保険労務士

いし ばし こう いち
所 長 石 橋 康 一



〒730-0052 広島市中区千田町一丁目1-7-201
TEL 082-244-6852 FAX 082-244-8878
Mail:ki33@pastel.ocn.ne.jp

住まいのことなら、何でもご相談ください。

TOA HOUSE  **住まいの夢をカタチにする
東亜ハウス**

会長 **西本 義弘** (S52年卒)


<https://toahouse.co.jp/>
〒730-0037 広島市中区中町7番16号2階 TEL.082-545-7160

西日本一のギフト専門店

引出物直送便 

ブライダル引出物は「持ち帰る」から「ご自宅にお届け」へ

お気軽にお問い合わせください

 **進物の大進**

広島本店
☎ **0120-31-4111**
FAX **082-224-0310**
広島市中区鉄砲町(八丁堀白島線)

ギフトランド
☎ **0120-29-4111**
FAX **082-211-1339**
広島市中区西白島町(白島線終点西・城北通り)

税 理 士

菅 直 文

『成年後見制度』

☆不登校・引きこもり者・非行青少年等・自立支援
☆軽度知的障害者成年後見制度による生涯サポート

〈提携機関〉通信制高等学校サポート校・通信制大学サポートセンター

イーズ・鯉城合同事務所

特定非営利活動法人 イーズ代表者理事長
所 長 清水 紀彦 (S46年卒)

〒733-0813 広島市西区己斐中3丁目21-1
携帯 (090) 6416-6070

備長炭炭火焼工房・味付海苔

鯉 山 城 屋

(H1卒) 松岡生朗

〒733-0033 広島市西区観音本町1-18-10
TEL (082) 232-2377 FAX (082) 292-0989

文具・スチール家具・事務用品販売

かとうししんどう

加藤至心堂

代表 加藤 健太郎 (平成3年卒)

〒734-0023 広島市南区東雲本町二丁目5-18
TEL (082) 281-0240 FAX (082) 288-4429
E-mail katoshishindo@yahoo.co.jp

Kunimitsu Kikaku

印刷・情報処理

代表取締役 國光英徳

有限会社 国光企画
〒730-0005 広島市中区西白島町17-24・3F
電話 082-511-4113 FAX 082-511-4114
携帯 090-1331-6386
E-mail: info@k2-kikaku.com

TAKARAZUKA GROUP

宝塚タクシーグループ



宝塚タクシー かもめタクシー 岸北タクシー

— タクシーのご用命は —

 082-263-2134



仕事で培われた、高い「品質」と「信頼」をモットーに
お客様にお客様への付加価値を提供致します。
総合物流・引越・ライフサポート
トータルビジネスサポート・レンタルボックス



株式会社ネストロジスティクス

代表取締役 迫 慎二 (S57年卒)

☎0120-121-133

本社: 〒732-0031 広島市東区馬木7丁目1984
出島営業所/福岡営業所/山口営業所/福山営業所/岡山営業所
三河営業所/浜松営業所/川崎営業所/茨城営業所/仙台営業所
http://www.nest-logi.co.jp e-mail: info@nest-logi.co.jp

祖父から孫までお世話になっています



大田 ガラス本店
(有) ウイズライズ
代表取締役 大田 智弘 (S58 年卒)
大田 龍正 (H22 年卒)
大田 翔毅 (高校2年)
広島市中区本川町1丁目1-10
TEL.082-291-1034

小さなゴミ～大きなゴミまで

広島県・広島市公認
廃棄物処理のプロ集団



株式会社
大栄クリーナー

〒731-3169 広島市安佐南区伴西3丁目8-1
TEL (082) 849-5374 FAX (082) 848-7500
URL http://www.daiei-cleaner.co.jp

伝統の美・技・真心

有限会社 吉田佛壇金具製作所

鍔金具(仏壇・仏閣・神社・神輿・別注品)
製造・販売・修理

〒731-0122 広島市安佐南区中筋三丁目32-12
TEL.082-870-1981 FAX.082-870-1982
E-mail kunysley92@aurora.ocn.ne.jp



朝日新聞グループ

オリコミ広告の企画・制作から配布まで

取締役
佐 伯 英 昭

株式会社 朝日オリコミ 広島
本社/〒733-0833
広島県広島市西区商工センター5丁目14-27
広島エムシービル1・2F
TEL (082) 501-2111 FAX (082) 501-2133
福山支社/〒721-0942 広島県福山市引野町4丁目5-18
TEL (084) 945-7766 FAX (084) 945-8022



ポエム

ポエム

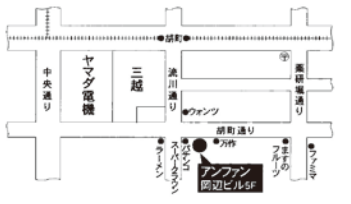
〒730-0033 広島市中区堀川町1-2
船屋ビル4F
TEL (082) 245-2558 代
携帯電話 090-8358-7703



アンパン

田中美樹

〒730-0033
広島市中区堀川町1-25
岡辺ビル5F
TEL:082-244-0700



ママの笑顔は赤ちゃんの笑顔

姿勢が変われば人生が変わる
己斐なかむら鍼灸接骨院



産前産後の専門院
広島骨盤センター
miroshima Pelvis Center



国家資格 柔道整復師 鍼灸師
院長
中村 崇弘
733-0812
広島市西区己斐本町1-5-10
NABビル1F
TEL:082-576-2916
E-mail: koi@kotsubancenter.com
ホームページはこちら

社会福祉法人うすい会 広島光明学園

理事長 碓井 法明

認定こども園広島光明学園
特別養護老人ホーム第二光明

認定こども園牛田新町光明保育園
認定こども園広島高陽学園

サービス概要

●認定こども園 ●小規模保育事業所 ●放課後児童クラブ
●特別養護老人ホーム/ショートステイ ●デイサービスセンター
●訪問介護 ●居宅 ●包括 ●グループホーム

スタッフ募集中

◎介護職員
◎保育士

〒732-0066 広島市東区牛田本町五丁目1-2
お問合せ ☎(082) 228-5595
https://komyogakuen.jp/ HPはこちら

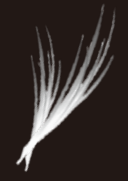




ホテルグランヴィア広島

〒732-0822 広島市南区松原町1番5号
電話:082-262-1111 (代表) FAX:082-262-4050

倉橋島産
宝島ねぎ



広島市中区舟入川口町2-39 有限会社 美づ葉
代表取締役 水場 耕一
TEL 082-291-6662



祝 同窓会総会 寺町10ヶ寺 崇徳OB会	
浄土真宗本願寺派	
浄専寺 広島市中区寺町4-29	超専寺 広島市中区寺町6-11
圓龍寺 広島市中区寺町3-13	正善坊 広島市中区寺町6-2
元成寺 広島市中区寺町6-7	浄満寺 広島市中区寺町4-38
光福寺 広島市中区寺町4-33	實相寺 広島市中区寺町1-33
品龍寺 広島市中区寺町4-44	光圓寺 広島市中区寺町5-43

二葉山 万古（ばんこ）に繁く
太田川 千歳（せんざい）清し
その山の翠微（すいび）を仰ぎ
その川の滄波（そうは）に伏して
大芝の堤に立つは
崇徳ぞ われらの学園
龍谷（りゅうこく）の流れを汲みて
末広き 聖（ひじり）の教え
その蔭に茂る撫子（なでしこ）
育（おお）し立つる 清き団欒（まどい）ぞ
御恵（みめぐ）みを心にしめて
朝夕に研げ知徳を



編集後記

崇徳学園同窓会広報誌の編集後記を担当できることを大変光栄に思います。この広報誌は、私たちの母校である崇徳学園の卒業生たちが再会し、思い出を共有し、新たな絆を築くための貴重な紙面となります。同窓生や現役生の声が紙面を通じて繋がり、同窓生の皆様におかれましては、かつての青春の日々が蘇る瞬間をお楽しみいただければ幸いです。

今号では、現役生や卒業生の皆さんの幅広い活躍を特集し、その素晴らしい成果にスポットライトを当てました。これからも、広報誌を通じて皆さんの輝かしい歩みを伝えていきたいと思っています。

最後に、広報誌の発行に際し、ご協賛いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。次回の同窓会やイベントで、さらに多くの卒業生の皆様とお会いできることを楽しみにしています。それまでの間、どうぞ健康に留意され、各自の道で益々のご活躍をお祈りしております。

（平成15年卒 流田 甲子郎）

崇徳学園は2025年に150周年を迎えます。

2025(令和7)年、崇徳学園はおかげさまで創立150周年を迎えます。明治から令和へ、時代とともに数々の変遷を重ねながら発展を遂げることができましたのは、ご縁のあったかけがいのない先人の方と、多くのみなさまのおかげによるものです。

これまでの150年の歴史と伝統を大切にするとともに、これを礎に未来に向かって崇徳学園は更なる進化をまいります。

150周年をみなさまと是非一緒にお迎えしましょう。



2025(令和7)年11月2日 創立150周年記念式典 開催



令和6年度 崇徳学園同窓会懇親会

日時: 令和6年9月28日(土) 総会/18:00 懇親会/18:30

会場: ホテルグランヴィア広島 広島市南区美咲1丁目5番5号 電話: 082-265-1111

会費: 8,000円 当番幹事: 平成24年卒業生



崇徳学園同窓会ホームページ
<https://dousoukai.site/sotoku/>

同窓会の活動や過去会報のバックナンバーなどを掲載していきます。
最新情報を発信してまいりますので、ぜひご覧ください！

BSG The Group of BRYUOKU SODOKU GAKUEN 龍谷総合学園 (RSG)の一員です。

近畿

- 龍谷大学
- 龍谷大学 短期大学部
- 龍谷大学付属平安高等学校
- 京都女子学園
- 京都女子大学
- 京都女子高等学校
- 相愛学園
- 相愛大学
- 相愛高等学校
- 成徳学園
- 神戸龍谷高等学校
- 龍学園
- 兵庫大学
- 兵庫大学短期大学部
- 兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
- 神戸国際高等学校

北海道

- 旭川龍谷学園
- 旭川龍谷高等学校
- 札幌龍谷学園
- 札幌龍谷学園高等学校
- 北海道龍谷学園
- 小樽双葉高等学校

中部・北陸

- 清光学園
- 高岡龍谷高等学校
- 蓮花学園
- 金沢龍谷高等学校
- 北陸学園
- 北陸高等学校
- 聖徳学園
- 岐阜聖徳学園大学
- 岐阜聖徳学園大学短期大学部
- 岐阜聖徳学園高等学校
- 藤岡学園
- 龍谷富山高等学校

中国

- 崇徳学園
- 崇徳高等学校
- 厚和学園
- 岡山龍谷高等学校

関東

- 武蔵野大学
- 武蔵野大学
- 武蔵野大学高等学校
- 武蔵野大学附属千代田高等学校
- 平田学園
- 国府台女子学院高等部

九州

- 福岡敬愛学園
- 敬愛高等学校
- 筑紫女学園
- 筑紫女学園大学
- 筑紫女学園高等学校
- 福岡学園
- 東九州短期大学
- 東九州龍谷高等学校
- 佐賀龍谷学園
- 九州龍谷短期大学
- 龍谷高等学校
- 伊万里学園
- 敬徳高等学校

(海外)ハワイ

- PACIFIC BUDDHIST ACADEMY

事務局 あいさつ



平成6年卒 久保 成史

同窓会会員のみなさま、平素より同窓会活動への多大なるご支援ご協力賜り、ここに厚く御礼申し上げます。事務局は、現在同窓職員4人体制で活動しており、主には正副会長・幹事会議での決定事項を具現化するための事務手続き、同窓会へのお問い合わせやご意見への対応などを行っております。同窓会役員の同窓会活動活性化への意欲は高く、事務局としては、学校職員との兼務が厳しい局面も多々ありますが、親睦を深める団体としての「愛校心」を原動力に日々尽力しております。

今年度は、共学開始5年目、女性生徒会長も誕生するなど、男女共学は「特別なこと」ではなくなっております。また、関東支部総会には女性同窓生も参加したという朗報もあり、同窓会も新時代を迎えております。

今年度の「同窓会だより」につきましては、近数年の卒業生のみなさま、ご支援をいただいたみなさまを中心に発送をしております。正副会長・幹事、事務局も時間的余裕が乏しいなか、手を携え製作に励んで参りました。是非ご一読ください。また、今後も会員のみなさまに学園内のご様子がお伝えできるよう版を重ねて参りたく存じます。同窓会運営のため、会員のみなさまの引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。

広告協賛にご協力いただける方は ob@sotoku.ed.jp まで